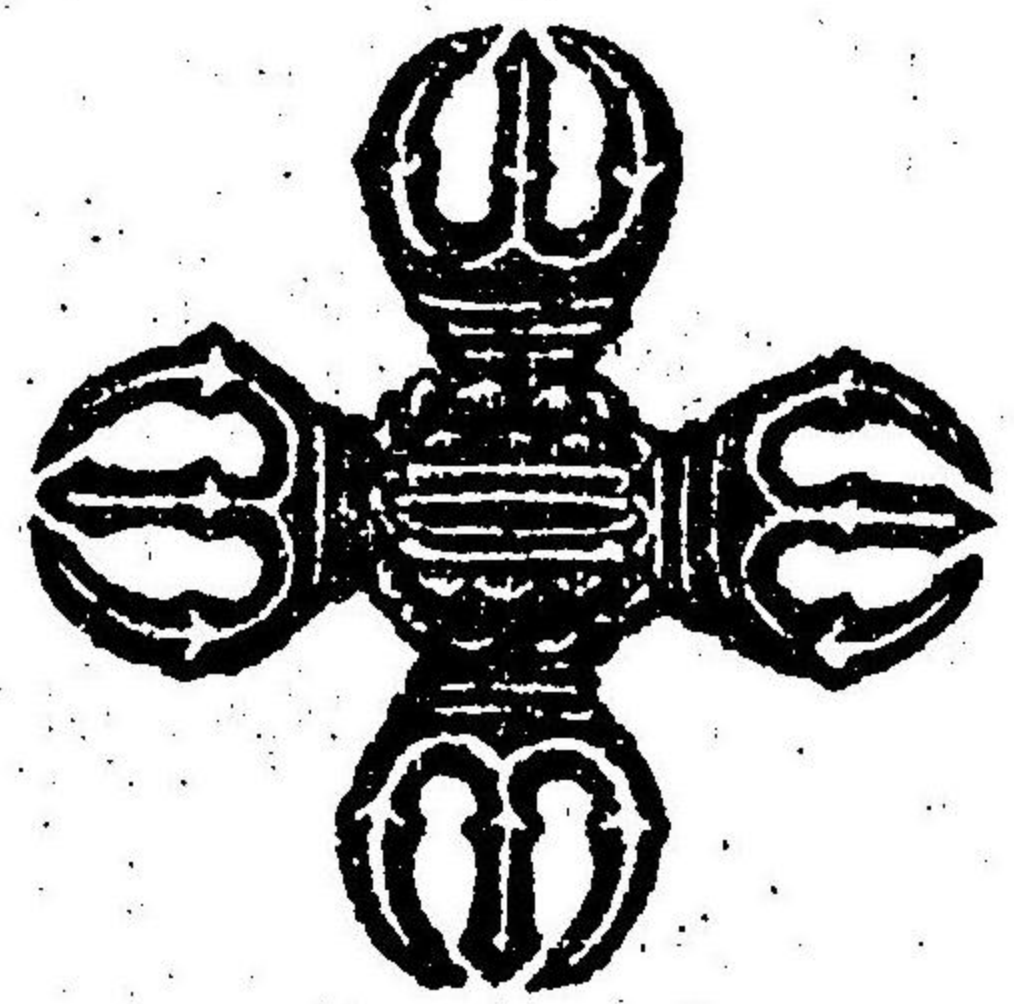


街府内靈場第五番
延命院住職 渡邊秀榮 閱
早稲田大學 川村繁則 著
文學士



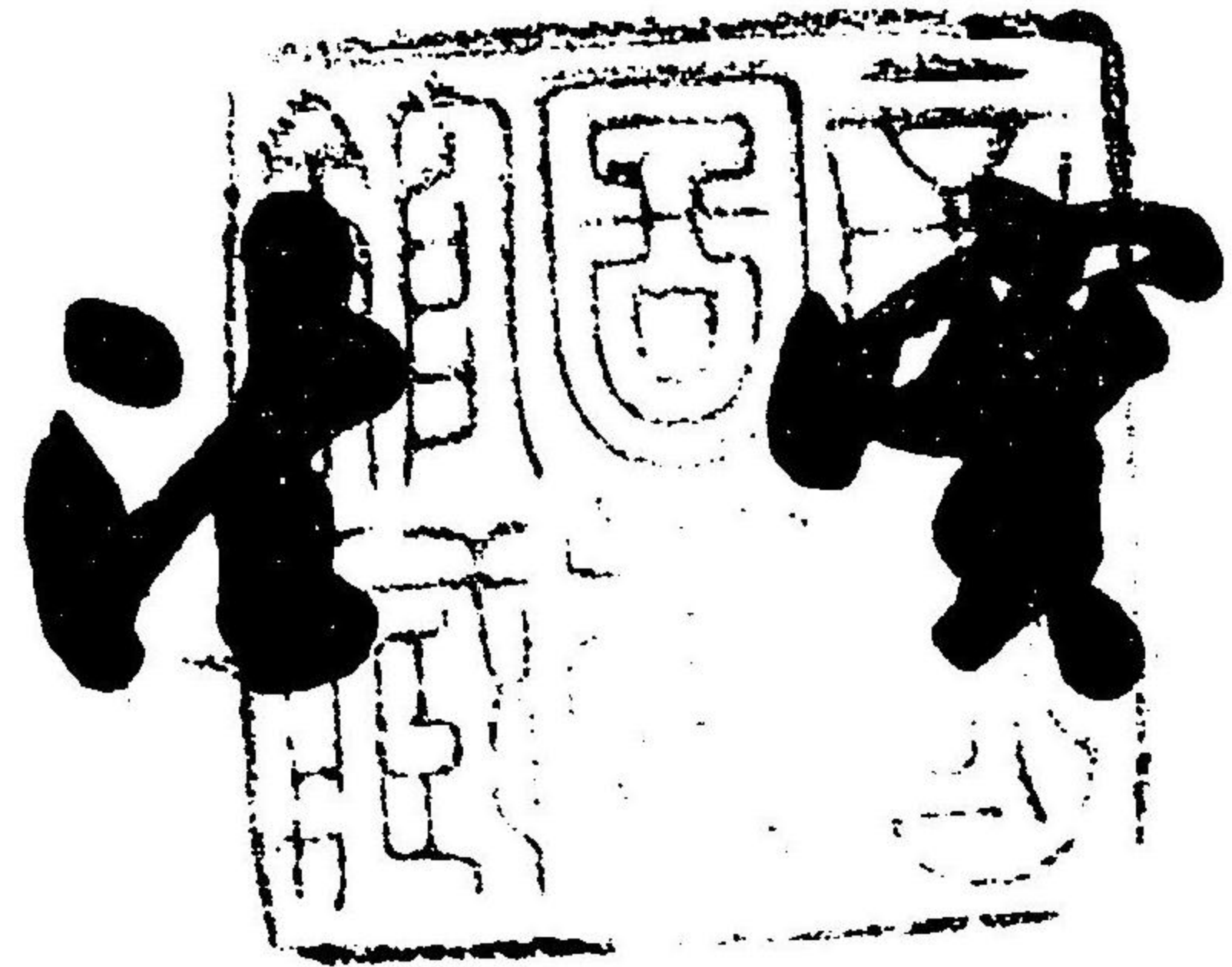
八十八
簡所 御詠歌講義

附街府内及四國靈場

東京 文樂堂發兌

259
458

特49
329



相家
村

相 家



秘鍵大師御尊像



弘仁九年之存字內人慈惠之尊像

懺悔文

我昔所造諸惡業、皆由無始貪瞋癡、從身語意之所生、一

切我今皆懺悔、

次三歸

弟子某甲、盡未來際、歸依佛、歸依法、歸依僧、

次三竟

弟子某甲、盡未來際、歸依佛竟、歸依法竟、歸依僧竟、

次十善戒

弟子某甲、盡未來際、不殺生、不偷盜、不邪淫、不妄
語、不綺語、不惡口、不兩舌、不慳貪、不瞋恚、不邪見、

八十八箇所 御歌講義

第 一 番

本尊釋迦如來

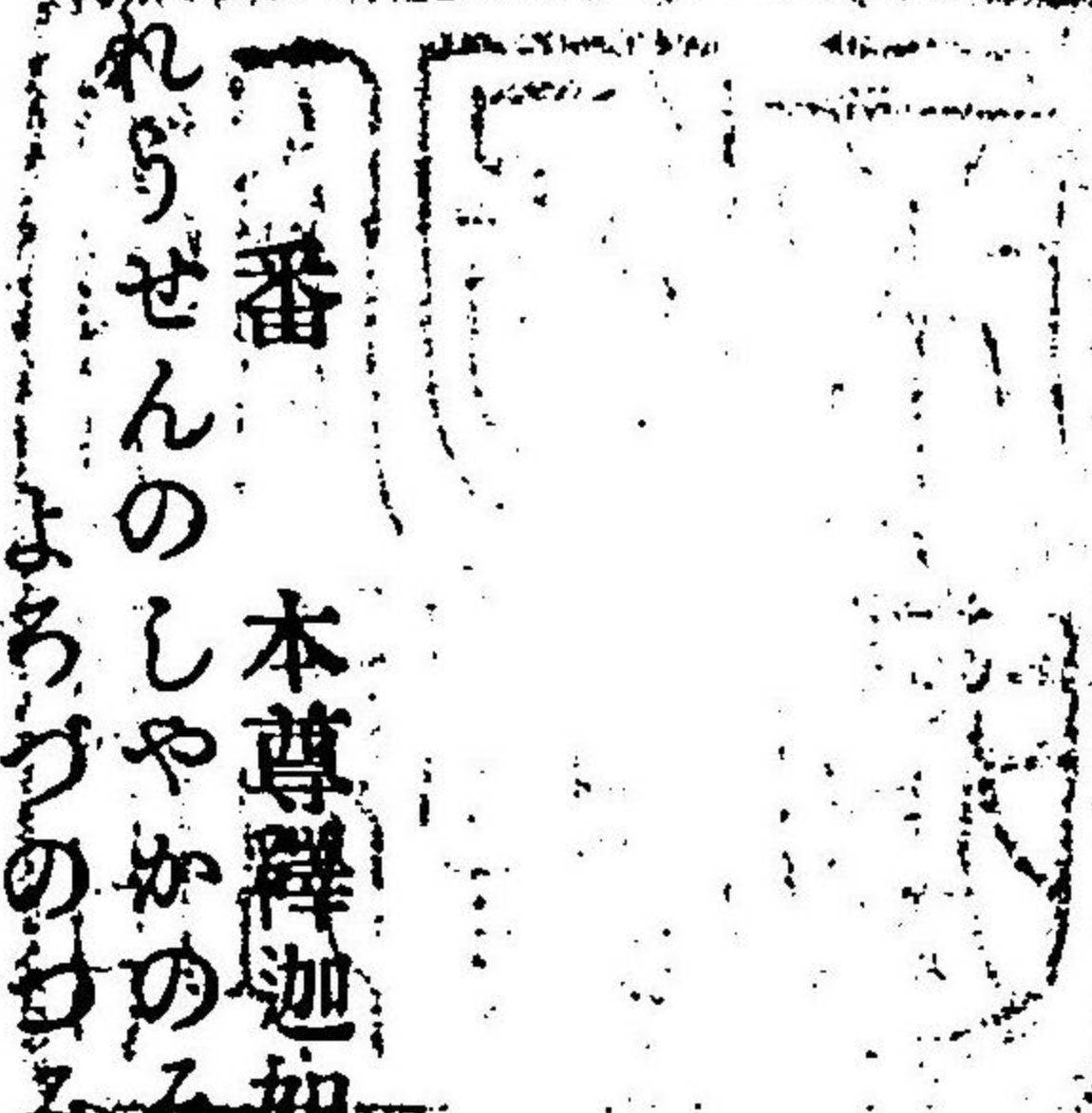
長

壽

寺

府内芝二本榎町二丁目

御府内釋迦第五番 延命院住職 渡邊秀榮 閣
早稲田大學 文 川村繁則 著



四國靈場第一番は阿波國板野郡板東村靈山寺で本尊は釋迦如來でございます。凡そ御歌には多く寺の名がよみ込んであります。此の歌のれうせんのといふも即ちそれで歌の意味は諸所靈場を順拜し廻り廻りて靈山寺の釋迦如來の前に來たら種々澤山の罪も消えてなくなつて了つたといふことで信心怠らずよく靈場を順拜すれば如何なる罪障も消滅しました如何なる業病も癒るので御座います。

次發菩提心眞言

をんほううちしつたばだはだやみ、

次三摩耶戒眞言

をんさんまやさこばん、

次光明眞言

をんあばさやへいろしやあうまかほたらまにはんどまじんばらはらばりたやうん、

次高祖寶号

南無大師遍照金剛、

次廻向文

願以此功德、

普及於一切、我等與衆生、皆共成佛道、

第二番 本尊大聖不動明王

府内豊多摩郡野方村江古田

東 福 院

ぞくらくのみだのじやうごへゆきたくば
なむあみたぶつくちぐせにせよ

四國靈場第二番は同國同郡同村大字檜の極樂寺で本尊は阿彌陀如來でございます。歌に極樂のとあるは寺の名をよみ込んだので意味は極樂淨土へ行きたければ寝ても起きても常に口ぐせのように南無阿彌陀佛を唱へろそうすれば必ず極樂へ行かれるぞよと教へられたのでございます。

第三番 本尊地藏菩薩

府内豊多摩郡淀橋町元角筈

多 門 院

ぞくらくのたからのいけをおもへたゞ
こがねのいづみすみたゝへたる

四國靈場第三番は同國同郡西村大字大寺の金泉寺で本尊は釋迦如來でございます。歌の中にこがねのいづみとあるは寺の名の金泉の二字を訓じたので一首の意味は人間は種々な慾が有て兎角邪な考を持つものであるがそれ等を拂ひのけて唯一筋に流んだ

第四番 本尊大日如來

府内在良郡大崎村上大崎

高 福 院

あがむれば月しろたへのよはあれや
たゞくろたふゝすみぢめのそで

四國靈場第四番は同國同郡松板村大字黒谷の大日寺で本尊は大日如來でございます。歌に黒谷とあるは大日寺のある所の名で一首の意味は四方を眺め渡せば月明く眞白な夜じやわいたゝ黒いものとは黒谷に墨染の衣の袖が見ゆる許りじやといふてつまり世間には墨染の衣をまとふた衆生濟度をなさるお方が見えない唯黒谷にあらつしやる許りじやといふ意味でございます。

第五番 本尊大日如來

府内麻布本村町

延 命 院

六ごうののうけのぢぢう大ぼさつ
みちびきたまへこのよのちのよ

四國靈場第五番は同國同郡同村大武の地藏寺で本尊は地藏大菩薩でございます。六道

とは天上界阿修羅界人間界畜生界餓鬼界地獄界の六つをいふので能化の地蔵とは衆生
濟度をなさる地蔵といふことでございませう。一首の意味は天上界阿修羅界人間界畜生
界餓鬼界地獄界の此の六道の衆生を濟度なさる地蔵菩薩よこの世も後の世も導いて極
樂淨土へ行かして下されとお願ひ申した歌でございませう。

第六番 本尊不動明王 不動院

府内麻布市兵衛町二丁目
かりの世にちぎやうあらうふむやくをり
あんらくこくのゆこをのづめよ

四國靈場第六番は同國同郡松島村大字引野の安樂寺で本尊は藥師如來でございませう。
かりの世とは此の世のこと知行とは祿即金錢や物品をさものであるとあります。一首の
意味はたゞほんのかりそめの此の世に金錢や物品を慾ばり争ふはむやくることじや。
死んでから行く安樂な極樂淨土の御守護を望めよといふので御座います。

第七番 本尊阿彌陀如來 泉室寺

府内豊多摩郡遊谷町
いんげんの八くをはやくはなれば

いたらんかたは九ほん十らく
四國靈場第七番は同國同郡高尾村大字高尾の十樂寺で本尊は阿彌陀如來でございませう。
一首の意味は人間には八苦と云つて八つの苦しみがある即ち存生の苦年老る苦病氣の
苦死ぬ苦此の四つと親兄弟や懸念な人と別れる苦怨み憎みに會ふ苦求むるもの得ら
れない苦五陰盛なる苦以上合して八つある。之れを早く離れて了つたならば行く所は
九品十樂の極樂じやといふのでございませう。

第八番 本尊不動明王 長遠寺

府内荏原郡馬込村
たきゞこり水くまたにのてらにきて
あんぎやうするものちのよのため

四國靈場第八番は同國阿波郡土成村大字西原の熊谷寺で本尊は千手觀世音菩薩でござ
います。歌に水くまたよの寺とあるは水を汲むといふこと、熊谷の寺といふのこと二つ
をかけて斯くいふたので一首の意味は熊谷の寺へ来て薪をとつたり水を汲んだりして
難行するも後世のためじやといふのでございませう。

府内青山原宿

第九番

本尊釋迦牟尼佛

龍

嚴

寺

大しやうのひほうもごがもひるがへし

てんぼうりのゑんごこそさけ

四國靈場第九番は同國同郡同村大字別當名の法輪寺で本尊は釋迦如來でございます。一首の意味は大小の非法即ち法に外れたことも罪科も轉じひるがへして菩提に入るのは轉法輪即ち教法を説き正道を開き衆生一切の惑業を摧き破る縁を聞いて居ますじやといふのでございます。

第十番

本尊如意輪觀世音

聖

輪

寺

府内豊多摩郡千駄ヶ谷町字町内

よくまんをたゞ一すじにきりはたじ

のちのよまでのさはりごぞある

四國靈場第十番は同國同郡八幡村大字切幡の切幡寺で本尊は千手觀世音でございます。歌にきりはたじとあるは寺の名と切り果すといふことと二つかけていひ廻したので一首の意味は人間には慈心があるがそれを唯一筋に切り果たして捨てて了へ。さもないと後の世までの障りとなつて極樂へは行かれぬぞといふのでございます。

第十一番

本尊藥師如來

莊

嚴

寺

府内豊多摩郡代々幡村千駄ヶ谷

いろもかもはなの中だうふじあでら

しんによのなみのたゞぬ日もなし

四國靈場第十一番は同國麻植郡西尾村大字飯尾の藤井寺で本尊は藥師如來でございます。色も香も花の中道といふたのは下に藤とあるから斯くいふたので歌の意味に關係はありませぬ。一首の意味は藤井寺には毎日濁らない清い真如の波が立つてゐるといふので解りやすく云へば藤井寺には有難い佛が御座らつしやるといふことでございます。

府内豊多摩郡中野町

第十二番

本尊不動明王

寶

仙

寺

のちのよをおもへばくぎやうせうさんじ
しでや三づのなんしよありとも

四國靈場第十二番は同國名西郡下分村大字左右内の燒山寺で本尊は虚空藏菩薩でございます。歌にせうさんじとあるは寺の名と苦行しようといふこととをかけて云つたの

で一首の意味はたとへ死出や三途の川などの難所があるとも後の世のことを思へばしりごみしてはゐられぬ。ごんな難行でも苦行でもいたさうといふのでございます。

府内京橋區越前堀一丁目

第十三番 本尊薬師如来 圓 覺 寺

あわのくに一のみやとはゆふだすき

かけてたのめやこのよのちのよ

四國靈場第十三番は同國名東郡八幡村大字一の宮の一の宮で本尊は十一面觀世音でございませう。ゆふだすきとは木綿の襦袢のことなれども此所ではそれには意味はなくて一の宮と云ふのじやと解するのであります。一首の意味は此所は阿波國一の宮といふのじや此の世後の世を頼めよといふのでございます。

府内豊多摩郡野方村上貫之宮

第十四番 本尊不動明王 福 藏 院

じやうらくのさしにはいつかいたらまし

くぜいのふねにのりおくれずば

四國靈場第十四番は同國同郡國府村大字延命の常樂寺で本尊は彌勒菩薩でございませう。

弘誓とは弘く衆生を濟度し普く證果を得せしめんこの佛のお誓を舟に喻へて云ふたのじやでございます。一首の意味は有りがたい佛のお誓の舟に乗りおくれなからば何時か極樂に行くであらうといふのでございます。

府内北豊島郡新井村字中村

第十五番 本尊秘佛薬師如来 南 藏 院

うすくこくわけくいろをそめぬれば

るてん志やうじのあきのもみちば

四國靈場第十五番は同國同郡同村大字矢野の國分寺で本尊は藥師如来でございませう。うすい色とこい色とを別々にわけて染めるこそそれが恰と死んだり生きたり流轉する有様を示して秋の紅葉のやうじやといふ歌でこくわけが寺の名になつてゐます。

府内北豊島郡石神井村石神井

第十六番 本尊大聖不動明王 三 寶 寺

わすれずもみちびきたまへくわんおんじ

さいほうせかいみだのじやうどへ

四國靈場第十六番は同國同郡國府村大字觀音寺の觀音寺で本尊は千手觀世音でござい

十
ます。観音寺とは寺の名をいふて観世音菩薩を指したのであります。一首の意味は觀世音菩薩よお忘れなく西方世界彌陀の淨土へ導いて下されとお願ひ申したのでございます。

第十七番 本尊薬師如來 長 命 寺

府内北豊島郡石神井村谷原

おもかけをうつしてみればいどのみづ

むすべばむねのあかやおちなん

四國靈場第十七番は同國同郡南井土村大字井土の井土寺で本尊は薬師如來でございます。一首の意味は清い瑠璃のやうなものがあがるが顔をうつして覗いて見れば井戸の水じや。此の清い水を手に掬ひ上げて飲んだら汚れた心の垢がおちるであらうといふのでございます。

第十八番 本尊大日如來 愛 染 院

府内四谷天王横丁

子をうめるそのち、は、のおんさんじ

とぶらひがたきことはあらじな

四國靈場第十八番は同國勝浦郡小松島村大字田野の恩山寺で本尊は薬師如來でございます。もと此の寺は行基菩薩がお開きになつたのでありますけれども世の移り變りで廢れて了つたのを弘法大師が御再建なされ母公を御孝養あつた縁で此の地に御遺體を納めお墓を築きなされたと云ふことでございます。歌に恩山寺とあるは寺の名で歌の意味からは恩と見てよいのです。子を生んだ父母の海山の御恩を決してとむらひ難いことではないのじや。必ずとむらふことができるものじやといふ歌でございます。

府内淺草松葉町

第十九番 本尊阿彌陀如來 清 光 院

いつかさて西のすまゐのわがたちへ

ぐぜいのふねにのりていたらん

四國靈場第十九番は同國那賀郡立江村の立江寺で本尊は地藏菩薩でございます。歌にたちへとあるは寺の名に館即ちやかたをいひかけたので一首の意味は有難い佛のお誓の舟に乗つて西方の極樂淨土の我が館へいつかは行くであらうといふのでございます。

府内芝愛宕町一丁目

第二十番 本尊身代不動明王 鏡 照 院

十二

あがりつるつるのはやしをしるべにて

だいじぞいませすちぞうたいしやく

四國靈場第二十番は同國勝浦郡生北村大字敷地の鶴林寺で本尊は地藏菩薩でございませす。一首の意味はこんもりと茂つた鶴の住んでゐる林を知るべとして佛が御座らつしやる。それは地藏菩薩と帝釋天じやといふのでございませす。

府内四谷天王横丁

第二十一番 本尊大日如來 東 福 院

大りうのつねにすむぞげにいはや

あやしんもんぢはしゆこのためなり

四國靈場第二十一番は同國那賀郡加茂谷村の大龍寺で本尊は虚空藏菩薩でございませす。この寺は捨身山常住院と云ひ弘法大師御幼年の時求聞持の法を修された地で近傍に捨身ヶ嶽ありまた龍の岩屋がある。其の奥に毒蛇を封じ込めた所もあるそうです。一首の意味は實に岩屋には大龍がいつも住んでゐるといふことじや。弘法大師が捨身聞持の法を修されたも守護の爲めじやといふのでございませす。

第二十二番 本尊辨財天 府内牛込靈衛町 南 藏 院

びやうとうにへだてのなきときくときは

あらたのもしきはとけとぞみる

四國靈場第二十二番は同國同郡新野村大字荒田野の平等寺で本尊は藥師如來でございませす。歌にびやうとうにとあるは寺の名にかけて依枯ひいきのないことをいふたのでまたあらたのもしきのあらたのは地名にかけて頼しいといふたのでございませす。一首の意味はえこひいきなく同じやうにわけへだてがないときとは實に頼もしい佛と見まするじやといふのでございませす。

府内日本橋藥研堀

第二十三番 本尊不動明王 不 動 堂

みなひとのやみぬるとしのやくわうじ

りのくすりをあたへまませ

四國靈場第二十三番は同國海部郡日和佐村の藥王寺で本尊は藥師如來でございませす。歌の中のやくわうじは寺の名にかけて厄多しといふたので一首の意味は皆人の病む年

の厄多し薬師如来よ瑠璃のやうな薬を興へて下されといふのでございます。

府内豊多摩郡落合村上落合

第二十四番 本尊薬師如来 最 勝 寺

めうじやうの出ぬるかたのひがしでら

くらさまよひはなとかあらまし

四國靈場第二十四番は土佐國安藝郡津石村大字高岡の東寺で本尊は虚空藏菩薩でございます。明星は東から出るがその明星の出る方の東寺は暗い迷がどうしてあらうありはせぬといふ歌でございます。この寺は一に室戸山明星院ともいひます。

府内豊多摩郡淀橋町元角管新町

第二十五番 本尊不動明王 長 樂 寺

のりのふねいるかいづるかこのつでら

まよふわがみをのせてたまへや

四國靈場第二十五番は同國同郡室戸村大字室津の津寺で本尊は地藏菩薩でございます。この津寺は寺の名であるが歌の意味からは舟の出入する海岸を津といふ故にそれと見るのであります。一首の意味は一切衆生を救ふ佛法の舟は此の津に入るのか出るのか

何卒迷つてる私を乗せて下されといふのでございます。

府内荏原郡大井村

第二十六番 本尊延命地藏尊 來 福 寺

わうじやうにのぞみをかくるごくらくは

月のかたむくにし寺のそら

四國靈場第二十六番は同國同郡同村大字元の西寺で本尊は薬師如来でございます。一首の意味は誰れも極樂往生を望まぬものはないが其の望をかける極樂は日の引込む西の方であるのじやといふのでございます。

府内麻布櫻田町

第二十七番 本尊薬師瑠璃光如来 正 光 院

みほとけのちかひのころかうのみね

やいばのちこくたとひありとも

四國靈場第二十七番は同國同郡唐濱村の神峯寺で本尊は十一面觀世音でございます。一首の意味は御佛のお誓の心は險阻な神峯のやうじや。たとひ刃の地獄があつてもそれを越ゆれば安樂國じやといふのでございます。

第二十八番 本尊兩界大日如來

府内本郷湯島新花町

靈雲寺

つゆゑもとつみをてらせる大にちじ

などかあゆみをはこばざらまし

四國靈場第二十八番は同國香美郡佐古村大字代口の大日寺で本尊は大日如來でございます。大日様は露や霜をてらすやうに罪をてらす其の大日様の御座らつしやる大日寺にどうしてあゆみをはこばなからうや足をばこんでお参詣をするといふのでございませう。

第二十九番 本尊千手觀世音

府内北豊島郡高田村砂利場

千手院

くにをわけたからをつみてたつてらの

すゑのよまでのりやくのこせり

四國靈場第二十九番は同國長岡郡國北村大字國分の國分寺で本尊は千手觀世音でございます。日本國を區分して諸所に建てた寺が國分寺といふので斯様にして實をつかつて建てた寺が末々の世までも利益を殘したといふ歌でございます。

第三十番 本尊正觀世音菩薩

府内牛込區高田町

放生院

ひとおほくたちあつまれるあんらくじ

むかしもいまもさかえぬるかな

四國靈場第三十番は同國土佐郡江香村大字田淵の安樂寺で本尊は阿彌陀如來でございます。安樂寺に多くの人が集つてゐるが昔も今も榮えることじやといふ歌でございます。

府内牛込辨天町

多門院

第三十一番 本尊大日如來

なむもんじゆみよのほとけのはとときく

われも子なればちゝぞほしけれ

四國靈場第三十一番は同國長岡郡五臺山の五臺山で本尊は文珠菩薩でございます。歌の意味は南無文珠菩薩よあなた様は過去現在未來のこの三世の佛の母親じやと聞きます。母親はその子に乳を與へるものであるが私もあなた様の子であるから乳がほしい。何卒乳を下されて愛し護つて下されといふのでございませう。

第三十二番 本尊十一面觀世音 圓 滿 寺

府内本郷湯島四丁目

あづかなるわがみなもとのぜんじぶし
うかぶこころはのりのはやふね

四國靈場第三十二番は同國同郡十市村禪師峯寺で本尊は十一面觀世音でございます。この歌は佛法を川にたとひて詠んだもので一首の意味は靜な禪師峯寺は我が佛法の流れの源で御座る。佛法に歸依してその流れに浮んだ心はとりもなをさす佛法の早舟じやといふのでございます。

府内北豊島郡巢鴨二丁目

第三十三番 本尊藥師如來 眞 性 寺

たびのみちうゑしもいまはこうふくじ

のちのたのしみありあけのつき

四國靈場第三十三番は同國吾川郡長濱村高福寺で本尊は藥師如來でございます。歌の中のこうふくじは幸福といふのを寺の名にいひなしたのでまた有明の月はあるといふのを美しく斯くいふたのであります。一首の意味は旅の道中でひもじい思をしたも今

は幸福ぢや。後の樂しみがあるといふて靈場願拜するには憂い辛いひもじい思もしたが後に極樂に行ける樂があるからその苦しみをしたのも今は幸福ぢやと申したのでございます。

府内本郷元町二丁目

第三十四番 本尊大日如來 三 念 寺

よのなかにまける五こくのたねまでら

ふかきによらいの大ひなりけり

四國靈場第三十四番は同國同郡秋山村の種間寺で本尊は藥師如來でございます。弘法大師此所に唐土より傳來の穀類の種を蒔かれたので種間寺といふのだそうです。一首の意味は私どもが命をつなぐ五穀を世の中に蒔かれたのは如來様の深いおなさけじやといふのでございます。

府内北豊島郡高田砂利場

第三十五番 本尊藥師如來 根 生 院

すむ水をくめばこころのきよたきじ

なみのはなちるいわのはごろも

四國靈場第三十五番は同國高岡郡高岡村大字瀧の清瀧寺で本尊は藥師如來でございます。一首の意味は瀧の水が岩に當つて四方に波の花が散り恰も岩の羽衣のやうである清瀧寺の澄んだ水を汲むと心も清らかになるといふのでございます。

第三十六番 本尊藥師如來 藥 王 院

わづかなるいづみにすめるるやうりうじ
ぶつぼうしゆこのちかひとぞきく

四國靈場第三十六番は同國同郡宇佐村字龍の青龍寺で本尊は不動明王でございます。歌のしやうりうじは寺の名をかりて青い龍のことをいふたのでございます。一首の意味は僅な小さい泉に住んでる青い龍は佛法守護の誓をしたのじやと聞きましたといふのでございます。

第三十七番 本尊藥師如來 府内深川福住町 萬 徳 院

六のちり五つのやしろあらはして
ふかきにいだのかみのたのしみ

四國靈場第三十七番は同國同郡久保川村の岩本寺で本尊は阿彌陀如來でございます。當寺は仁井田五社の元別當職で本尊は五社の本地佛であります。六のちりとはこの世をいふので一首の意味は此の世の中に五社を現せられて一切衆生をお救ひなさるも仁井田神の深いお樂しみぢやといふのでございます。

第三十八番 本尊正觀世音 府内北豊島郡高田村砂利場 金 乘 院

ふだらくやこゝはみさきのふねのさは
とるもすつるものりのさたやま

四國靈場第三十八番は同國幡多郡清松村大字伊佐の蹉跎山で本尊は千手觀世音でございます。觀世音を安置してあるのでまた補陀落山とも云ひます。一首の意味は此所補陀落山は恰ど岬の舟のやうじや。棹をとるのもすつるのも佛法の御さたじやといふのでございます。

第三十九番 本尊藥師如來 府内四谷區寺町 眞 成 院

なむやくし諸病ちよのくわんこめて

まゐるわがみをたすけまませ
四國靈場第三十九番は同國同郡平田村大字中山の延光寺で本尊は藥師如來でございます。一首の意味は南無樂師如來様諸病よける願をこめてお参りいたしまする私をお助け下されませといふのでございます。

府内南葛飾郡龜戸村

第四十番 本尊金剛界大日如來 普門院

あんぐわんやじざいのはるに花さきて

うきよのがれてすむやけたもの

四國靈場第四十番は伊豫國南宇和郡御庄村大字平城の觀自在寺で本尊は藥師如來でございます。一首の意味は心願成就して春の花も開き獸すらも憂き世を遁れて住んでゐる。まして私ども人間は心願成就すれば此の娑婆の苦患を免かれ安樂になることができるといふのでございます。

府内淺草區永住町

第四十一番 本尊十一面觀世音 蜜藏院

このかみはさんごくるふのみつきやうを

まもりたまはんちかひとぞさく
四國靈場第四十一番は同國北宇和郡成妙村大字履の龍光寺で本尊は十一面觀世音でございます。當寺には稻荷明神を勧請してある。弘法大師と佛法を守り無福の衆生を救ふ約束をなされた神だそうです。一首の意味は此の稻荷明神様は三國に流布する眞言の教を守るお約束をなされた神様だそうぢやといふのでございます。

府内下谷區谷中三崎上町

第四十二番 本尊大日如來 觀音寺

くさもさもほとけになれるぶつもくじ

なをたのもしきさちくにんてん

四國靈場第四十二番は同國同郡同村大字則の佛木寺で本尊は大日如來でございます。弘法大師此の地に來られた時に古い楠の上に光明がある見れば一の寶珠であつた。依て楠を伐り大日如來の尊像を作られたといふことであります。歌にも此の事が述べてあるので佛木寺では草や木すらも佛になる。まして餓鬼畜生人間天上の衆生は猶たのもしい必ず佛になれる。といふのでございます。

府内淺草南松山町

第四十三番

本尊觀世音菩薩

成

就

院

二十四

さくならく千手のちかひふしぎには

だいばんじやくもかろくあけいし

四國靈場第四十三番は同國東宇和郡田筋村大字明石の明石寺で本尊は千手觀世音でございます。歌の意味は聞いてゐますに千手觀世音菩薩のお約束なされた不思議さにはとても持上げられない大磐石も軽くあげられるそうちやといふのでございます。あけいしは寺の名とあげられると兩方をいふのであります。

府内四谷區南寺町

第四十四番

本尊金剛界大日如來

顯

性

寺

いまのよはだいひのめぐみすがうさん

ついにはみだのちかひをぞまつ

四國靈場第四十四番は同國上浮穴郡普生村大字寶寺で本尊は十一面觀世音でございます。當寺は普生山と云ふので歌にあるはそれとすがらうといふことゝを云ふたのでございます。一首の意味はこの世では大慈大悲の觀世音のお恵にすがり遂に後の世では阿彌陀如來のお誓の極樂に行くのを待つのをちやといふのでございます。

府内淺草區永住町

第四十五番

本尊如意輪觀世音

觀

藏

院

大じやうのいのるちからのげにいはや

いしのなかにもごくらくぞある

四國靈場第四十五番は同國同郡土佐川村大字七島の岩屋山で本尊は不動明王でございます。一首の意味は大聖不動明王の祈りなされるお力は大きなりと申さうか何といはふか石の中にまでも極樂があるといふのでございます。

府内本所區林町一丁目

第四十六番

本尊川上藥師如來

彌

勒

寺

ごくらくのじやうりせかいたくらへば

うくるくらくはむくいならまし

四國靈場第四十六番は同國下浮穴郡坂本村大字淨の淨瑠璃寺で本尊は藥師如來でございます。一首の意味は極樂世界を悪くたくらめば苦をうけ善くたくらめば樂をうける。苦をうけるも樂をうけるも報であらうといふのでございます。

府内北豐島郡瀧の川上中里

第四十七番 本尊阿彌陀如來 城 官 寺

花をみてうたよむひとはやさかであら

さんぶつぜうのゑんとこそさきけ

四國靈場第四十七番は同所の八阪寺で本尊は阿彌陀如來でございます。一首の意味は花を見て歌を詠む人はやさしい心ちやがそれがまた佛の功德をほめとなへる縁だそうじやといふのでございます。

府内豊多摩郡野方村下沼袋

第四十八番 本尊大聖不動明王 禪 定 院

みだぶつの世界をたづねゆきたくば

にしのはやしのでらへまゐれよ

四國靈場第四十八番は同國温泉郡桑村大字高井の西林寺で本尊は十一面觀世音でございます。一首の意味は阿彌如來の極樂世界をたづねて行きたければ西林寺へ參詣なされといふのでございます。

府内下谷區谷中町

第四十九番 本尊多寶如來 多 寶 院

じうあくのわがみをすてずそのまゝに

じやうどのてらへまゐりこそすれ

四國靈場第四十九番は同村大字鷹子の淨土寺で本尊は釋迦如來でございます。十惡とは十善戒を犯すをいふので一首の意味は十惡の我が身を捨てもせずに其の儘で淨土寺へ參詣しまする有りがたいことぢやといふのでございます。

府内本所區元町出張所

第五十番 本尊藥師如來 大 德 院

よろづよのはんたなりともおこたらず

あよびやうなかれとのぞみいのれよ

四國靈場第五十番は同國温泉郡桑原村大字畑寺の繁多寺で本尊は藥師如來でございます。萬事世の中は種々のことがあつて煩さいけれども怠りなく諸病のなきやうに祈りなされといふ意味の歌でございます。

府内淺草區永住町

第五十一番 本尊大日如來 延 命 院

さいほうをよそとはみまじあんやうの

てらにまゐりてうくる十らく

二十八

四國靈場第五十一番は同國同郡道後村大字石手寺で本尊は樂師如來でござい
ます。當寺はまた安養寺とも云ひます。一首の意味は西方の極樂淨土を他所はかとは見
まい。安養寺即ち石手寺に參詣してこんな浄土の樂をうけるからはこの寺を極樂と
思はふといふのでございませう。

府内豊多摩郡戸塚村下戸塚

第五十二番 本尊十一面觀世音 觀 音 寺

太さんへのぼれはあせのいでけれど

のちのよおもへばなんのくもなし

四國靈場第五十二番は同國和氣郡和氣村大字太山の太山寺で本尊は十一面觀世音で
ございませう。一首の意味は太山へ登るには汗が出て骨がおれたけれども後世の事を思へ
ばそんなことは何の苦にもならぬといふのでございませう。

府内下谷區谷中上三崎南町

第五十三番 本尊兩部大日如來 自 性 院

らいごうのみだの光りのゑんみやうじ

てりそふかけはよなくのつき

四國靈場第五十三番は同村大字和氣の圓明寺で本尊は阿彌陀如來でございませう。一
首の意味は來迎の阿彌陀如來のお光は圓かに明けく其の光の照りそふかけは夜々出る
月のやうじやといふのでございませう。

府内小石川關口駒井町

第五十四番 本尊十一面觀世音 新 長 谷 寺

くもりなきかゞみのゑんとながむれば

のこさずかけをうつすものかな

四國靈場第五十四番は同國越知郡野間村大字河方の延命寺で本尊は不動明王でござい
ませう。一首の意味は善には善の報があり悪には悪の報があり。まるで曇のない鏡で物
をうつすやうぢやと思ふて眺めて見ればまあ善も悪ものこさず影をうつすものぢやわ
いといふのでございませう。

府内下谷區上三崎町

第五十五番 本尊阿彌陀如來 長 久 院

このところみしまにゆめのさめければ

二十九

へつぐうとてもおなじすいじやく
四國靈場第五十五番は同國同郡日吉村大字別宮の別宮で本尊は大通智勝佛でございます。一首の意味は此の所を見た間に無明の夢が覺めたから別宮といふけれども別な所ではないやはり同じ有りがたい御佛の靈驗を垂れ給へし土地ちやといふのでございませう。

第五十六番

本尊地藏菩薩

府内北豊島郡田畑六河彌陀寺

與

樂

寺

みなひとのまゐりてやがてたいさんじ

らいせのいんどうたのみおきつ

四國靈場第五十六番は同國同郡日高村大字小泉の泰山寺で本尊は地藏菩薩でございます。たいさんじは寺名と退散しと兩方にいふたので一首の意味は皆人が參詣してやがて散りちり退散し歸りて行く來世の引導を願つて置いてといふのでございませう。

第五十七番

本尊阿彌陀如來

府内下谷區谷中初音町一丁目

明

王

院

このよにはゆみやをまもるやはたなり

らいせはひとをすくふみだぶつ

四國靈場第五十七番は同國同郡瀬部村大字八幡の八幡で本尊は阿彌陀如來でございます。一首の意味はこのよでは弓矢の道をまもる八幡菩薩ちや。來世は人をお救ひなされる阿彌陀如來ちやといふのでございませう。

府内北豊島郡野方村高田

光

德

院

第五十八番

本尊千手觀世音

たちよりてされいのどうにやすみつ

六じをとなへきやうをよむべし

四國靈場第五十八番は同村大字別所の佐禮山で本尊は千手觀世音でございます。一首の意味は佐禮山の堂に立寄りて休みなから南無阿彌陀佛の六字を唱へお經をよみなれといふのでございませう。

府内北豊島郡瀧の川村西ヶ原

無

量

寺

第五十九番

本尊不動明王

しゆこのためたてゝあがむる國ぶんじ

いよくめぐむやくしなりけり

四國靈場第五十九番は同國同郡櫻井村大字國分の國分寺で本尊は樂師如來でございます。一首の意味は守護のために建て、崇め奉る國分寺の本尊はいやが上にもお恵をたれ給ふ樂師如來ちやわいといふのでございます。

第六十番 本尊阿彌陀如來 吉 祥 院

府内淺草區永住町

たてよこにみねややまへにてらたて、

あまねくひとをすくふものかな

四國靈場第六十番は同國周布郡千足山村大字横峯の横峯寺で本尊は大日如來でございます。一首の意味は峯といはず山邊といはず豎横十文字に四方八方へ寺を建て、運く一切の人を救ふものちやなあとといふのでございます。

府内淺草區南松山町

第六十一番 本尊大日如來 正 福 院

のちのよをおそろゝひとはかうをんじ

とめてとまらぬしらたきのみづ

四國靈場第六十一番は同國同郡小松村大字南川の香苑寺で本尊は大日如來でございます。

す。一首の意味は後世を恐るゝ人は幸運ちや。その幸運は白瀝の水のやうでとめやうとととまらぬといふので幸運と香苑は音が似てゐるから斯く云ふたのであらうと思ひます。

府内淺草區榮久町

第六十二番 本尊金剛界大日如來 威 光 院

さみだれのあとにいでたるたまの井は

しらつゆなるや一のみやかは

四國靈場第六十二番は同村大字新屋敷の一の宮で本尊は十一面觀世音でございます。五月雨のシト〜と降つたあとにきれいな水の出た玉の井は白露なにかいや〜一の宮ちやとほめた〜へた歌でございます。

府内下谷區谷中初音町一丁目

第六十三番 本尊弘法大師 觀 知 院

みのなかのあしきひはうをうちすて、

みなさちじやうをのぞみいのれよ

四國靈場第六十三番は同國新居郡水見村大字寺野の吉祥寺で本尊は毘沙門天王でございます。

います。一首の意味は身の中の悪い非法を捨て、了つて幸福を祈りなされといふのでござります。

府内下谷區谷中上三崎北町

第六十四番 本尊阿彌陀如來 加納院

まへはかみうしろはほとけごくらくの
よろづのつみをくだくいしづち

四國靈場第六十四番は同國同郡神戸村大字洲の内の前神寺で本尊は阿彌陀如來でござります。此の寺は石槌山と云ひ一首の意味は諸の罪を碎く石槌山は前は神が御座らつしやりうしろには佛が御座らつしやるといふので前は神とは寺の名をさして居ります。

府内芝區北寺町

第六十五番 本尊大日如來 大聖院

おそろしや三つのかくにもあるならば
こころをまろくみだをねんぜよ

四國靈場第六十五番は同國宇摩郡金田村大字三角の三角寺で本尊は十一面觀世音でござります。一首の意味はあゝ恐しいことちや角々しきこの世にゐるなら心を圓くして

人とも争はず一心に阿彌陀如來を祈りなされといふのでござります。三つのかくとはとかく角々しいこの世をさしたまた寺の名をあげたのです。

府内北豊島郡瀧ノ川村田畑

第六十六番 本尊不動明王 東覺寺

はるくくとくものあたりのてらにきて
月日をいまはふもとにぞみる

四國靈場第六十六番は讃岐分阿州三奴郡佐馬地村大字自他の雲邊寺で本尊は千手觀世音でござります。一首の意味ははるく雲邊寺に来て婆の苦患をのがれ月日を今は麓の方に見るといふのでつまり婆の苦をのがれたといふ歌でござります。雲のあたりの寺とは雲邊寺のことです。

府内芝區愛宕町一丁目

第六十七番 本尊藥師如來 眞福寺

うるおきしこまつをでらをながむれば
のりのおしへのかぜぞふきぬる

四國靈場第六十七番は讃岐國豊田郡辻村大字小松尾の小松尾寺で本尊は藥師如來でござ

三十一番。植置きしとは寺の名が小松といふからさういふたので別に意味はないので
す。一首の意味は小松尾寺を眺むれば佛法の教の風が吹いてゐる佛法が盛んちやとい
ふのでございませう。

府内深川公園内

第六十八番

本尊大聖歡喜天

永

代

寺

ふるのねもまつふくかぜもことひくも

うたふもまふものりのこゑく

四國靈場第六十八番は同國同郡觀音寺村字觀音寺の琴彈八幡で本尊は阿彌陀如來で
ございませう。琴彈八幡といふからさういふ歌を詠んだので一首の意味は笛の音も松を吹
く風も琴をしらべるのも歌をうたふのも踊るのも皆佛法の聲ぢや實に盛んなものぢや
とたへたのでございませう。

府内芝區三田北寺町

第六十九番

本尊金剛界大日如來

寶

生

院

くわんおんの大ひのちからつよければ

おもきつみをもひきあげてたへ

四國靈場第六十九番は同所觀音寺で本尊は聖觀世音でございませう。一首の意味は觀世
音菩薩のおなさけの力は強いから私の重い罪をも引上げて助けて下されといふので
ございませう。

府内北豊島郡下石神井

第七十番

本尊阿彌陀如來

禪

定

院

もと山にたれがうゑけるはなれや

はるこそたをれたむけにぞなる

四國靈場第七十番は同國三野郡本山村大字寺家の本山寺で本尊は馬頭觀世音でござい
ませう。一首の意味は本山寺に花があるが誰が植ゑて置いたのぢやらう美しい花ぢや春
は手折れ手向けになるといふのでございませう。

府内豊多摩郡野方村新井

第七十一番

本尊藥師如來

藥

王

寺

あくにんとゆきつれなんもいやたにじ

たばかりそめもよきともぞよき

四國靈場第七十一番は同國同郡大見村大字大見の彌谷寺で本尊は千手觀世音でござい

ます。一首の意味は悪人とは連れだちて行くもいやちやたゝホンのかりそめの一寸の間でも好き友達が好いといふのでいやたにじは寺の名をかりていやちやといふたのでございます。

府内浅草區榮久町

第七十二番 本尊方除不動明王 不 動 院

わづかにもまんだらおがむひとはたゝ

ふたゝび三たびかへらざらまし

四國靈場第七十二番は同國多度郡吉原村大字吉原の曼荼羅寺で本尊は大日如來でございます。一首の意味は因果は廻ぐる小車の如く悪には必ず悪の報があるのちやがたゝホンの僅でも曼荼羅を拜む人は其の報をのがれるにより怠なく一心に信心なされといふのでございます。

府内深川區本村町

第七十三番 本尊金剛界大日如來 覺 王 寺

まよひぬる六どうのしゆじやうすくはんと

たつときやまにいつるしやかでら

四國靈場第七十三番は同所の出釋迦寺で本尊は釋迦如來でございます。天上修羅人間餓鬼畜生地獄この六道に迷つてゐる衆生をあはれんで救つてやらうと思召して釋迦如來は貴い山に出られたといふので出づる釋迦寺とは寺の名をよみこんだのでござります。

府内深川區住町

第七十四番 本尊大日如來 法 乘 院

十二神みかたにもてるいくさには

おのれとこゝろかぶとやまかな

四國靈場第七十四番は同國同郡筆岡村大字弘田の甲山寺で本尊は藥師如來でございます。一首の意味は十二の神様を味方にもつてゐる軍隊は自分ながら心丈夫ちやといふのでかぶとやまとは寺の名の甲山をかくよんだのでございます。

府内赤阪區一ツ木町

第七十五番 本尊大日如來 威 德 寺

われすまばよもきえはてじぜんつうじ

ふかきちかひののりのもしび

四國靈場第七十五番は同國同郡屏風浦善通寺村の善通寺で本尊は藥師如來でござい
ます。この歌は佛法を燈火にたとへたもので一首の意味は我が住んで居ればまさか
に佛法は滅しはせない廣く八方に弘まるといふのでございませう。

府内北豊島郡長崎村

第七十六番

本尊阿彌陀如來

金

剛

院

まことにもしんぶつそうをひらくれば

しんごんかぢのふしぎなりけり

四國靈場第七十六番は同國那珂郡瀧川村大字金倉寺の金倉寺で本尊は藥師如來でござ
います。誠に神佛僧の區別はあるけれども中を開いて其の本を尋つぬれば皆一つで不
思議なる眞言加持の秘密であるのぢやといふ歌でございませう。

府内芝區三田南寺町

第七十七番

本尊辨財天

佛

乘

院

ねかひをばぶつどうりうにいれはてん

ぼだいの月をみまくほしさに

四國靈場第七十七番は同國多度郡豊原村大字北嶋の道隆寺で本尊は藥師如來でござい

欠

MISSING

第八十六番

本尊兩部大日如來

府内小石川區仲町

常

泉

院

いささらばこよひはこゝにしどのてら
いのりのこゑをみゝにふれつゝ

四國靈場第八十六番は同國大川郡志渡の志渡寺で本尊は十一面觀世音でございます。
一首の意味はさあそんなら今夜はこゝ志渡の寺に祈りの聲を耳にしながら宿らうといふのでございます。

第八十七番

本尊如意輪觀世音

府内小石川區大塚坂下町

護

國

院

あしびきの山どりのをのながをでら

あきのよすがらみだをとなへよ

四國靈場第八十七番は同國同郡奥山村大字西村の長尾寺で本尊は聖觀世音でございます。
す。あしびきの山鳥の尾のとは下に長尾とあるから斯くいふたので何の意味もない。
一首の意味は長い秋の夜の一晚ちう長尾寺で南無阿彌陀佛を唱へて祈りなされといふのでございます。

第八十八番

本尊弘法大師

府内芝白金臺町

文

珠

院

なむやくししよびやうなかれとねがひつゝ、
まゐれるひとはあふくばのてら

四國靈場第八十八番は同國同郡同村大字金剛の大窪寺で本尊は藥師如來でございます。
一首の意味は大窪寺には南無藥師如來様諸病ないやうにと願ひしつゝ、參詣に來る人
が澤山あるといふのであふくばのてらとあるのは多いといふことゝ寺と兩方にかけて
いふたのでございます。

明治四十二年七月廿七日印刷
明治四十二年八月一日發行

實價金九錢

著

者

川

村

繁

則

茨城縣稻敷郡太田村大字堀川二十六番地

發

者

保

谷

時

次

郎

東京府豊多摩郡中野町四千〇五拾番地

印

者

梅

本

房

吉

東京府豊多摩郡淀橋町柏木三百廿六番地

印

所

梅

本

印

刷

所

東京府豊多摩郡淀橋町柏木三百廿六番地

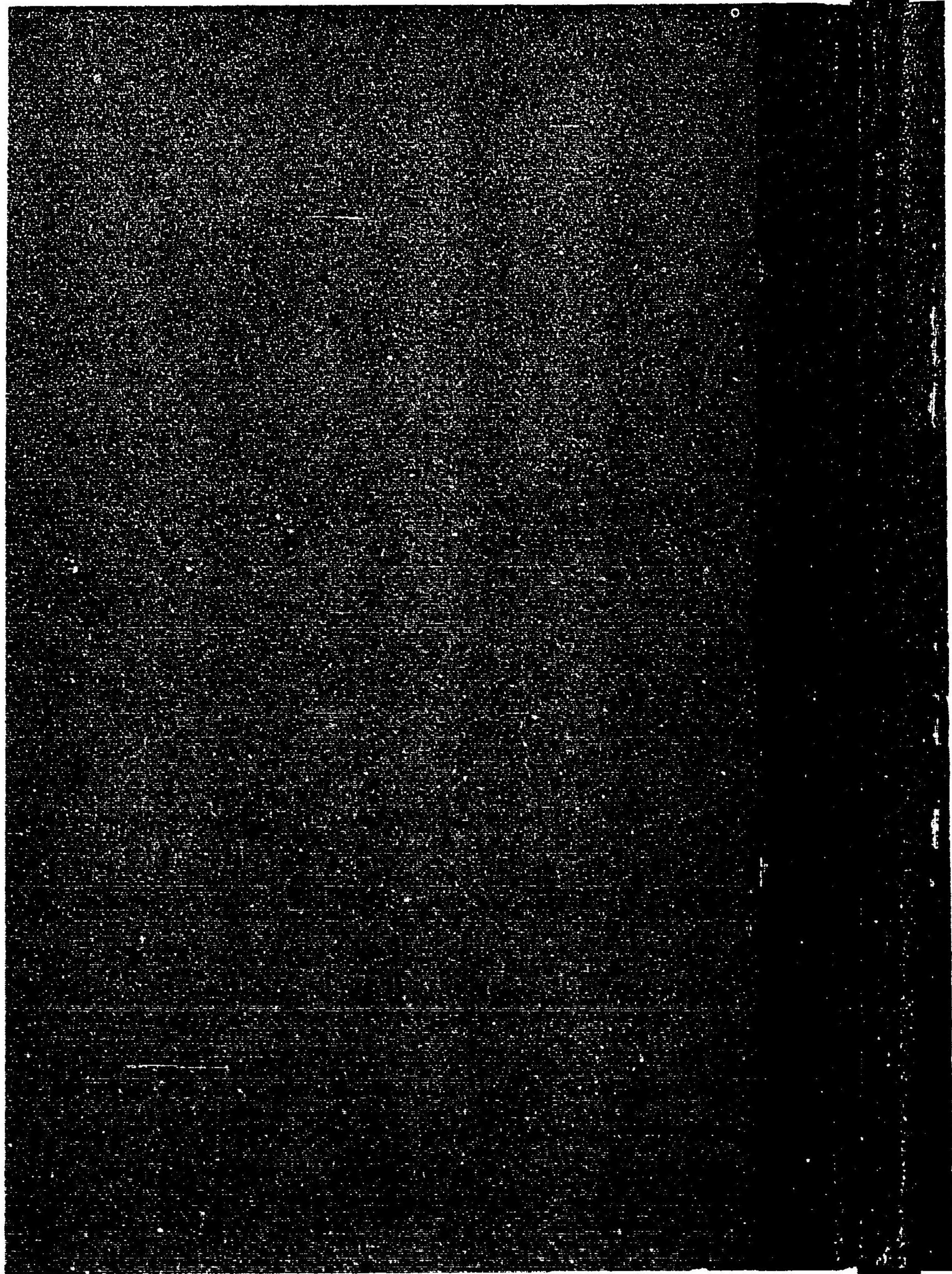
東京府豊多摩郡中野町中丁

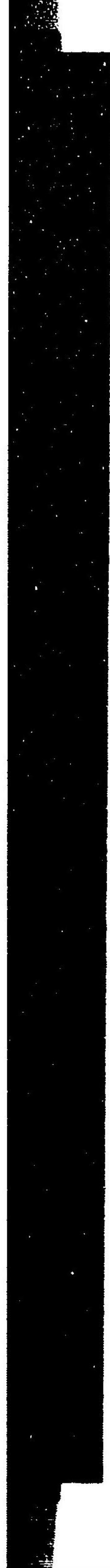
復 製
不 許

259
458

發行所 文樂堂書店

J-38





特49

329

八十八箇所御詠歌講義

川村繁則

国立国会図書館

017235-000-1

特49-329

八十八箇所御詠歌講義

川村 繁則 / 著

M42.8

ABE-0612



